

令和二年度 東京都立第五商業高等学校 全日制課程

推薦に基づく選抜

作文

注意

- 一 開始の合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
- 二 問題は二ページにわたって印刷してあります。
- 三 検査時間は五〇分で、終わりは午前九時五〇分です。
- 四 声を出して読むではいけません。
- 五 答えは全て解答用紙に明確に記入し、終了の合図のあと、解答用紙だけを提出しなさい。
- 六 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 七 受検番号を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。

【問題】 次の課題文をよく読み、筆者の主張についてのあなたの考えを述べなさい。その際、第一段落で、**課題文**から読み取れる筆者の主張とその実現のための提案についてまとめなさい。第二段落で、それに対するあなたの意見を、根拠を明確にして述べなさい。第三段落で、あなた自身はどのようにしているかと思うか述べなさい。なお、五四〇字以上六〇〇字以内で、解答用紙（縦書き原稿用紙）に書くこと。

課題文

（*印のついている言葉には、本文の後に「注」がある。）

「人に譲るために座る」 優先席を空ける究極の方法 ― *マセソン美季さんのパラフレーズ

電車の車両に用意された車いす用のスペースは、優先席の前に設置されていることが多い。だから私は、優先席に座る人を観察する機会がよくある。

松葉杖をついている女子高生が乗って来たのに、誰も動こうとしない。居たたまれない気持ちになって、優先席でスマホをいじっている若者たちに「もし妊婦さんとか、*内部障害をお持ちの方じゃなかったら席を譲っていただけませんか？」と声をかけた。何も言わずに隣の車両に彼らが消えて行った後、「本当に助かりました」と女子高生は丁寧に頭を下げた。実は、同じような場面に遭遇したことが以前にもある。

職場には、妊娠三十三週目まで勤め上げた元気すぎる妊婦さんがいた。人並み以上の体力があつて、精神力もタフな彼女でさえ妊娠中の電車通勤には苦労していたようだ。「中略」*マタニティマークをつけていても見て見ぬ振りをされ、悲しくなったことは少なくないと言う。「中略」お腹が目立つようになってからは声をかけてくれる人も増えたと言うが、体調が安定しなかったり、*つわりがひどかったりする妊娠初期は、外見だけでは妊婦かどうかなんてわからない。困っているも自分からは言い出せず、我慢をしている人たちは一体どれ程いるのだろう。

逆説的なアイデアなのだが、いっそ元気な人ほど優先席に座って欲しいと思う。そして困っている人を見かけたら、「いつでも立ちます。あなたのために席をとっておきました!」というような気持ちで席をさっと空ける。いわば「優先席譲り隊」を結成して、率先して座ってもらえないものだろうか。「後略」

(日本経済新聞 朝刊二〇一八年八月九日 より)

〔注〕マゼソン美季——一九七三年生まれ。大学一年時に交通事故で車いす生活に。一九九八年長野パラリンピックのアイススレッジ・スピードレースで金メダル三個、銀メダル一個を獲得。

内部障害——内臓機能の障害。見た目には健康な人と変わりがないため、理解を得にくい。

マタニティマーク——妊産婦が交通機関等を利用する際に身につけ、周囲が妊産婦への配慮を示しやすくするもの。

つわり——妊娠初期の女性にあらわれる食欲不振・吐き気・嘔吐おうと・嗜好しこうの変化などの症状。